

《全国鯉釣り協会 東日本ブロック釣果記録申請書》

① 申請部門に○がない場合には、「大物賞申請」と見做します。 ② 地元&遠征先自慢申請は、大物賞申請の用紙をコピーしたものでも受け付けます。

釣り上げた場所： ←都道府県を記載

大物賞申請・地元自慢申請・遠征先自慢申請

注）都道府県名を記載し、申請するいずれかに○をする。

釣り人氏名 押印
省略可

所属倶楽部

魚 種 鯉 青魚 草魚 連魚 その他 ()

全 長 ミリ単位を切り捨て、cm単位とする。 cm

重 量 小数点以下第1位まで。 kg

年月日(曜) 20 年 月 日 ()

時 間 24時間制で記載 時 分
深夜12時30分は0時30分

エ サ

記入例→ 河川・湖・沼・池の名称 霞ヶ浦 地域名又は通称呼び名 有河

釣り場 (必須事項) (推奨事項)

必須事項の記載のない申請は対象外とする。

現認者・確認者 署名又は
記名押印

倶楽部名 確認者は協会員
が望ましい

住 所 協会員は
住所記載不要

ロット/リール/道糸 / /

ハリス/仕掛け/針 / /

釣った時の状況や感想を書いてください

※ この欄にコメントがある申請書を優先して会報に掲載します。

上の二重線枠内は 申請時の必須項目です。

「現認者・確認者」の自筆署名又は記名押印ない申請は無効です。

写真添付 スケールを添えた検量写真

魚を手にもっている写真 (魚体、釣り人の顔が写っていること)

- 1) パソコンで写真を挿入する場合には、
約 横504 × 縦336 ピクセル(比率3:2)
約 横448 × 縦336 ピクセル(比率4:3)
程度に リサイズ することをお勧めします。
※ 基本的にはデジカメの4:3の比率でお願いします。
- 2) 写真を貼る場合には、DSC(89×119mm)、
又はL(89×127mm)サイズが適しています。

春季・秋季大会及びMCFCでの釣果の取り扱い

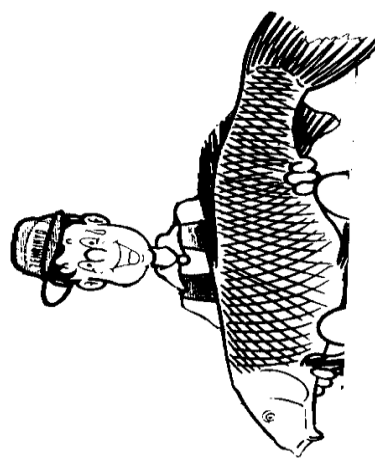
- 1) 本申請書の提出をもって受付とします。
- 2) 全長・重量の有効桁数が異なるので切り捨て登録。
- 3) 「現認者・確認者」に、該当する大会名を記載する。

これらを守ることで下記を省略できる。

- ① 「現認者・確認者」欄の記載が不要
- ② 写真の添付が不要



- ※ 口当て板と、尾当て板(曲尺等)は必須です。
- 1) 尾当て板は、スケール(直尺)に垂直に当てる。
※ ソフトスケールでの検量は避けてください。
 - 2) 真上からの撮影が困難な大物の検量写真は、
魚体腹側から離れた撮影でも可とする。
(ただし、口当てと尾当てを含めた釣果全体写真と、
尾当て部分の目盛りが読める写真も撮ってください)



※右手で「魚の頭」を持った写真としてください。

魚を持つ者は出来るだけ腕を伸ばし、
撮影者は出来るだけ魚体に近づいて撮影する。
大物は地面に置いた状態で撮影してもよいが
釣り人が一緒に写っていること。